

シール・クイックサーチャー (SQS) の紹介と活用方法 (グランドパッキング編)

1. はじめに

『Seal Quick Searcher[®]』(シール・クイックサーチャー)は、工業用シール製品の選定から課題解決に役立つ製品情報の提供を目的としたWEBツールである。当社ホームページにて公開以降、お客様より非常に好評をいただいております。現在は日本語に加えて、英語・中国語にも対応しています。当社ではH&S企業としてサービスの強化に努めており、様々な形での製品情報の提供は、その取り組みの一環である。

本報では、シール・クイックサーチャー (以下、SQS) の特徴から、製品選定が難しいと捉えられがちなグランドパッキングにおける適切な製品の探し方を紹介する。



Figure1 SQSロゴマーク

2. SQS (Seal Quick Searcher[®]) の特徴

SQSではお客様が必要とする技術情報に対して、専門的な知識がなくても容易にアプローチ出来るように設計している。当社で取り扱う各種製品では必要とされる技術情報やその検索方法は異なってくるが、それぞれの特徴を下記にて説明する。

2-1) 製品選定へのアプローチ

シール製品において漏えいなどのトラブルを防止するには、正しい製品を使用することが重要であり、それぞれの使用条件や要求仕様から選定することが基本となる。SQSにおいては選定に必要な情報(流体・圧力・温度.etc)が入力項目として設けられており、その値を入力することによって簡単に推奨製品が表示される。

また、産業分野からよく使用される代表的な製品を検索したり、他社製品の品番から相当品を検索することも可能となっており、多様な方法で推奨製品の検索が可能となっている。

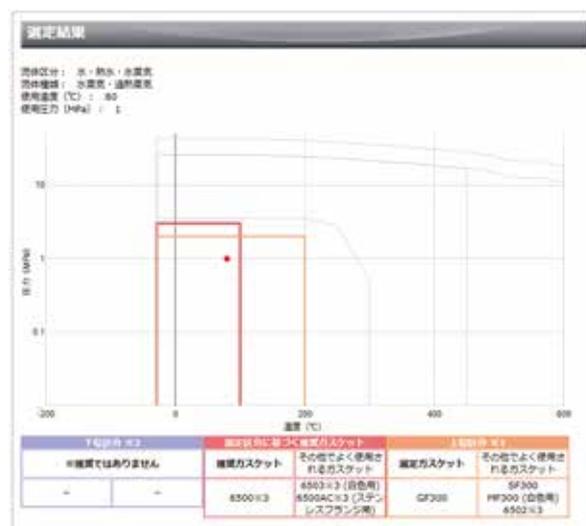


Figure2 製品選定結果例(ガスケット)

2-2) 製品情報へのアプローチ

従来のカタログと同様に、それぞれの製品名称や製品番号から製品情報にアプローチすることが出来る。SQSにおいては、製品特長や使用可能範囲などの情報のみではなく、同じページ内に各種物性情報や設計関連情報を折りたたんで掲載しており、必要とする技術情報をすぐに確認出来るようになってきている。



Figure3 製品紹介例 (No.GF300)

2-3) 関連情報へのアプローチ

シール製品においては正しい製品を使うとともに、正しく使うことも重要となる。ガスケット製品においては締付け力が不足すると漏えいに直結する。そのためにSQSではサポートツールとして、フランジ寸法から締付けトルクを計算する機能を設けている。また、エラストマー製品においては、機器の動作不良防止に役立つ、摺動抵抗の予測ツールを設けている。

これらだけにとどまらず、よくある質問をFAQの形式で掲載しており、これまでノウハウが多く記載されているバルカーハンドブックも掲載しているため、是非とも各現場での活用をお願いしたい。

3. 適切なグラントパッキンの検索方法

SQS活用の具体例として、適切なグラントパッキンの検索の方法を、具体例にて説明する。

3-1) 使用用途の選択

グラントパッキンの代表的な用途としては、「バルブシステム用」「回転ポンプ軸用」に大別され、それぞれの使用条件が大きく異なるために選定指針も異なる。まずはその用途を選択する。



Figure4 グラントパッキン用途選択画面

3-2) 使用条件の入力

グラントパッキンを選定する際に必要な最低限の情報は、①機器詳細 ②流体 ③温度 ④圧力の4つとなり、高速で軸が回転するポンプ用途については、⑤周速の情報が追加で必要となる。これらの情報を入力して、「検索」をクリックすることによって、推奨製品が出力される。



Figure5 使用条件入力画面(バルブ用)

3-3) 検索結果の読み方・注意事項

「バルブシステム用」における検索結果例をFigure6に示す。図にあるように、使用条件から推奨される製品とその組み合わせが表示される。この例では2種の製品が表示されているが、どちらの製品も使用可能であり、その他の要件(コスト・色調・取り扱い性.etc)によって選択可能である。それぞれの表示されている品番をクリックすることによって、製品紹介のページに移動するので参考にさせていただきたい。また、圧力条件によって推奨されるリング数は決定されるが、表示されているリング数や組み合わせについては、入力条件を反映した結果になっている。

SQSでは「バルブシステム用」「回転ポンプ軸用」の製品検索が可能であるが、プランジャーポンプなどの「往復動機器用」やそれ以外の用途・流体については網羅出来ておらず、その製品選定の際には、技術担当者にて対応する。



Figure6 検索結果表示画面(バルブ用)

4. おわりに

本報では技術情報を提供するツールの一つであるSQSを紹介したが、是非とも当社ホームページよりアクセスいただき、その利便性を確認願いたいと考えている。

現代においては、情報機器の普及・発展によって様々な情報へのアクセスが容易になっており、我々もH&S企業の取り組みの一環として、より役立つ情報を、より便利に提供出来るように努めていく所存である。



松村 清裕
H&S営業本部
テクニカルソリューショングループ